

おほとものすくねやかもち うぐひす うた  
大伴宿禰家持の鶯の歌一首

一四四一番

うち霧らし 雪は降りつつ しかすがに 我家の  
園に うぐひす鳴くも

おほくらのせうふたちひのやぬしまひと うた  
大蔵少輔丹比屋主真人の歌一首

一四四二番

難波辺に 人の行ければ 後れ居て 春菜摘む見  
を 見るが悲しき

たちひのまひとおとまろ うた  
丹比真人乙麻呂の歌一首

一四四三番

霞立つ 野の上の方に 行きしかば うぐひす鳴  
きつ 春になるらし

たかたのおほきみ うた  
高田女王の歌一首

一四四四番

山吹の 咲きたる野辺の つほすみれ この春の  
雨に 盛りなりけり